



学校 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標 **自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子**

ボツワナ共和国との児童画交流

校長 宮崎美代子

初夏を通り越して、いきなり真夏が来たかのような気温の日が続いております。暑い中、学校教育説明会とPTA総会にご出席いただきありがとうございました。本校では、水分補給と適切な休憩をとりながら、子どもたちが安全に活動を楽しめるように努めております。6年生の修学旅行もすぐ近くに迫っており、また4～5年生の体験学習も控えております。万全の状態です活動できるように、ご家庭でも体調管理のご協力をお願いいたします。

さて、8月28日～30日、TICAD7(日本政府が国連、国連開発計画、アフリカ連合委員会、世界銀行と共同で開催するアフリカ開発をテーマとした国際会議)が、パシフィコ横浜で開催されます。今年のTICADは第7回ですが、2008年に開かれた第4回の中から、本校は、ボツワナ共和国と交流を始めました。その後、「都筑・ボツワナ交流児童画展」に発展して今も続いています。

アフリカ南部の内陸国で、国土は日本の約1.5倍というボツワナ共和国は、1966年に独立した美しい大自然の国です。ゾウの生息する国立公園や野生動物保護区もあります。1967年にダイヤモンドが発見されたことでも有名です。首都ハポロネにあるベン・テマ小学校の児童と本校3年生が、お互いに児童画を送り、展示会を開くのが「都筑・ボツワナ交流児童画展」です。この活動は、2014年から行っていますが、都筑区役所、つづき MY プラザ等関係機関のご尽力によって続いている本校の特色の一つであり、自慢でもあります。



昨年度は、ベン・テマ小学校からボツワナで見られる様々な動物たちや人々の生活の様子がわかる絵を送っていただきました。本校からは「日本を紹介したい」という児童の気持ちから、富士山やスカイツリー、お城、将棋、着物、食文化等が描かれた絵を送りました。これらの絵は、ベン・テマ小学校、本校はもちろんのこと、都筑区役所区民ホールやJICA横浜にも展示され、多くの市民の方に見ていただくことができました。関係機関のおかげで、児童の書いた解説文を翻訳したキャプションが、それぞれの絵に貼られており、とてもわかりやすくなっていました。

5月19日(日)には、「TICAD7 100日前イベント」が行われ、昨年度児童画交流を行った児童の中から代表9名が、クィーンズスクエアでステージ発表を行いました。ボツワナ共和国のNkoloi NKOLOI大使が見に来てくださり、子どもたちも大喜びでした。今年度も大使館の方々と児童が交流できるような機会をつくるべく、多くの関係機関のみなさまが動いてくださっています。この交流を通して、本校の子どもたちが、「ボツワナに一番近い子どもたち」になれるといいなと思います。そして、子どもたちの目と心が、広い世界に向かって開かれていくように、より一層交流を深めていきたいと思っています。